

議案第 1 号

# 会 則

福野北部地域づくり協議会

# 福野北部地域づくり協議会会則（案）

## 第1章 総則

（名称）

第1条 本会の名称を、福野北部地域づくり協議会とする。

（目的）

第2条 本会は、福野北部地域の住民相互の交流と親睦を図るとともに、住みよい地域づくりを進めていくことを目的とする。

（活動）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1） 地域ビジョンの策定及びその見直し。
- （2） 地域住民の健康福祉の増進、環境施策の推進、教養、文化、体育の向上並びに青少年の健全育成に関すること。
- （3） 地域住民相互の情報交換並びに交流親睦事業の企画実施に関すること。
- （4） 安全安心で、かつ潤いのある地域づくりに関すること。
- （5） その他、目的達成のために必要な事業。

（会員）

第4条 本会の会員は、福野北部地域に居住する住民及び地域内を活動範囲とする活動団体等で会長が認めたものとする。

（事務所）

第5条 本会の事務所は、南砺市野尻 652-2 番地 福野北部交流センター(以下「センター」という。)内に置く。

## 第2章 組織等

（役員）

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長(専門部会長) 5名
- (3) 事務局長(センター管理者) 1名

2 本会には役員のほかにも監事2名と、必要に応じ顧問を置くことができる。

#### (役員の仕事)

第7条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括し、総会を招集し議長となる。
- (2) 総務部会長は筆頭副会長とし、会長を補佐し会長に事故あるときはこれを代理する。
- (3) 副会長の各専門部会長は、部会を代表し活動を総括する。
- (4) 事務局長は事務全般を総括し、センター管理者を兼務する。

#### (役員を選任等)

第8条 第6条に定める役員については、総会において承認を受ける。

- 2 役員の仕事は2年とする。ただし、補欠の役員の仕事は前任者の残任期間とする。
- 3 役員は再任されることができる。

#### (運営委員)

第9条 本会に運営・実行委員を置き、定数は80名程度とする。

- 2 運営・実行委員は、住民の中から各自治会で選出する。

#### (常任委員会)

第10条 会の運営にかかわる重要事項を審議するため、役員及び常任委員による常任委員会を組織する。

- 2 常任委員は、役員会において選任する。
- 3 常任委員会は、次の項を評議決定する。
  - (1) 事業計画及び予算を策定すること。
  - (2) 事業報告及び決算を行うこと。
  - (3) 会長、副会長を総会に推薦すること。
  - (4) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項を議決すること。
- 4 常任委員の定数は、25人以内とする。

#### (専門部会)

第11条 本会に次のとおり専門部会を置く。

- (1) 総務部会
  - (2) 安全・環境部会
  - (3) 健康・福祉部会
  - (4) スポーツ部会
  - (5) 教育・文化部会
- 2 前項に定める専門部会は、運営・実行委員により構成する。
  - 3 運営・実行委員の各専門部会への所属については、常任委員会で決定する。
  - 4 各専門部会に部会長及び副部会長を置き、選出方法は部会員の互選とする。
  - 5 部会長は部会を代表し、部会活動を総括する。
  - 6 副部会長は部会長を補佐する。副部会長の代表は、部会長に事故あるときはこれを代行する。

#### (総会)

- 第12条 総会は、本会の最高決議機関であつて、毎年1回の定期総会を開催するほか、会長が必要と認めた場合又は総会構成員の2分の1以上から請求があつた場合は、その都度臨時総会を開催する。
- 2 総会の構成員は、常任委員、専門部会副部会長及び運営・実行委員であることを条件とする。
  - 3 総会は、次の各号に定める事項について決定する。
    - (1) 事業計画及び予算に関すること。
    - (2) 事業報告及び決算に関すること。
    - (3) 常任委員の推薦に基づき会長、副会長及び事務局長を選任すること。
    - (4) 地域ビジョンの決定等に関すること。
    - (5) 会則の制定及び改廃に関すること。
    - (6) その他、本会に関する基本的又は重要事項の決定に関すること。

#### (役員会)

- 第13条 本会の運営を円滑に進めるため役員会を置く。
- 2 役員会は、会長、副会長(各専門部会長)及び事務局長で構成する。
  - 3 役員会は会長が招集し、会議の議長となる。

### 第3章 会議

#### (会議の招集)

- 第14条 本会の会則に定める会議は、総会を除き会長が必要と認める時に招集し開催

する。

(定足数等)

第 15 条 本会則に定める総会及び各会議は、構成員の過半数の出席により成立し、会議の議事は出席者の過半数によって決定する。

2 会議に出席できない構成員は、その権限の行使を構成員に委任することができる。

## 第4章 会計

(経費)

第 16 条 本会の経費は、会費、交付金、補助金、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第 17 条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計及び資産帳簿の整理)

第 18 条 本会は、会の収入、支出及び資産を明らかにするため、会計及び資産に関する帳簿を整理する。

2 会員が帳簿の閲覧を請求したときは、正当な理由がない限り帳簿を閲覧させなければならない。

(監査報告)

第 19 条 監事は、会計年度終了後に事業及び会計監査を行い、総会で報告する。

## 第5章 事務局

(事務局)

第 20 条 本会の会務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局に事務局長を置き、会の事務を総括する。

3 事務局長を補佐するため若干の事務局員を置く。

4 事務局員は、役員会の承認を得て会長が指名するものとする。

## 第6章 その他

(雑則)

第 21 条 この会則に定めるもののほか、本会の運営規則等に関しては常任委員会で定める。

附 則

この会則は、平成 31 年 4 月 14 日から施行する。

# 慶弔規程

福野北部地域づくり協議会

慶弔規程

(目的)

第1条 この規程は、福野北部地域づくり協議会(以下「本協議会」という。)の慶弔に関する必要な事項を定めるものである。

(慶賀金)

第2条 本協議会の役員等が本協議会事業に関する功勞により、所管大臣または富山県知事表彰を受けたときは、祝い金として○万円、及び祝電を贈る。

(弔慰金)

第3条 本協議会の役員等が死去した場合は、次の各号の弔慰金を贈る。

- (1) 本人 ○万円、供花、弔電
- (2) 役員等の直系(配偶者、親、子) ○万円、供花、弔電

(見舞金)

第4条 本協議会の役員等が次の各号に該当する場合は、見舞金を贈る。

- (1) 病氣見舞 疾病のため一か月以上入院した場合 ○万円
- (2) 災害見舞 火災、風水害等の被害に対する見舞金は、状況に応じて会長が決定し、後日常任委員会に報告するものとする。ただし、上限を○万円とする。

(特例)

第5条 特別の事情により、この慶弔規程により難いときは、その都度会長が決定し、後日常任委員会に報告するものとする。

(届出)

第6条 この規程により慶弔を表すことが生じたときは、関係者は遅滞なく必要な事項を協議会事務局に届け出るものとする。

(改廃)

第7条 この規程を改廃する場合は、常任委員会の承認を得て行うものとする。

附 則

この規程は、平成31年4月14日から施行する。